

平成30年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	都市軸形成促進事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	2	○
政策	31魅力あふれるまちづくりを進めます	担当課室	都市計画課			
施策	313質の高い既成市街地の整備	担当課室長	横山 吉治			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	引き続き、事業計画について地域住民等の協力、また、事業実施に向けての用地・路線測量及び関係機関との調整を行う。	③平成30年度に取り組む改革・改善内容	昨年度実施した用地測量等を踏まえ、国の交付金を活用した事業を推進するため、関係地権者の協力と、関係機関との調整を行う必要がある。
②①に基づく取り組み結果	事業実施に向け、駅利用者への事業周知と関係地権者の協力を得て、用地・路線測量を実施した。また関係機関との調整を継続的に行っている。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	初富駅周辺地区整備事業	意図(対象をどうするのか)	初富駅へのアクセスルートと駅前広場の整備を行う。
②事務事業の概要	都市軸の一翼を担う初富駅周辺地区において、新京成線連続立体交差事業と併せて駅前広場等の整備の必要性から、地域住民や関係機関と協議を行いながら事業を推進していく。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	新京成線連続立体交差事業が平成29年度に1線供用開始され、平成31年度に完成が見込まれる状況、また駅前広場の整備については、高齢者人口の増加に伴い駅への送迎重要が高まり、安心して乗降できるよう整備を促進する必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	駅利用者への事業周知と、関係地権者の協力を得て、用地・路線測量を実施した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i	用地取得面積(初富)	265	0	0	m ²	業務取得
	ii	鎌ヶ谷市を住みよいと答えた市民割合	-	-	-	%	市民意識調査
	iii						
③事務事業のコスト	平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算(事業費)の主な内訳		平成30年度予算		
事業費(千円)	1,620	3,541	金額(千円)	内容	49,260		
国支出金(千円)	0	0	3,348	初富駅地区用地路線測量	21,615		
県支出金(千円)	0	0	194	初富駅地区登記資料作成	0		
市債その他(千円)	0	0			23,100		
一般財源(千円)	1,620	3,541			4,545		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	新京成線連続立体交差事業が平成31年度に供用開始のスケジュールが示されたことから、初富駅前広場等の整備に伴う用地の確保や建物移転等について、関係住民の理解と関係機関との調整が必要である。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	初富駅前広場等の整備は、新京成線連続立体交差事業の事業効果を高めるための関連事業として、また市の都市基盤としての整備、通学路の安全性を高める側面から推進する必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成29年度の計画	初富駅周辺地区用地・路線測量	平成29年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	事業実施に向けた用地・路線測量が完了した。	4,000	4,000	当初	4,000	3,541	H27からの繰越	0
				H27⇒28繰越	0		現年分	3,541
③達成状況	完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0			
				平成29年度への繰越額(単位:千円)		0		